

2025年05月30日(金曜日) 中央中学校で森林教室を実施(4回目)

屋久島町立中央中学校3年生54名に対して、屋久島森林管理署と当保全センター職員による森林教室を実施しました。

この森林教室は、林業への理解を目的として、林業の流れが体系的に学べるよう、様々な森林施業内容について体験を交えながら、卒業までの3年間で一巡する森林教室を試行的に行っているものです。

最終回となる4回目の今回、座学は今までの森林教室を振り返りつつ、「森林に何を期待するか」について生徒に考えてもらい、「期待すること」と「解決方法」について、発表をしてもらいました。生徒からは「土砂崩れの防止」や「建物の材料」等を期待しており、それを解決するためには「苗をたくさん育てて植える」や「木材の循環を意識する」といった、今までの森林教室の講義内容を生かした回答がありました。

体験活動では、1年生の時に種まきを行い、育ててもらっていた、スギ実生苗の植栽を行いました。当日は天候不良のため、トロ箱に土を詰め、山鍬で穴を掘り、植付けをしました。生徒は初めて使う道具に悪戦苦闘し、時折職員のアドバイスをもらいながら各班ごとに「小さな苗畑」を完成させました。

最後に、歌野森林技術指導官より、全4回の実施結果を総括し、講義を終えました。

今回初めて林業に特化した森林教室を実施し、生徒の林業に対するイメージが向上したことをアンケートを通して確認することができ、一定の成果が出ていると感じましたが、その一方で多くの課題や改善点が見つかり、今後の取組に活かしていきたいと思います。

今後は、鹿児島県・屋久島町・地元林業事業体等と連携・協力し、継続して取組を進めていきたいと考えています。



グループワークの結果を発表(左)、生徒による植付け体験(中)、今までのまとめを行う歌野森林技術指導官(右)

2025 年 05 月 28 日(水曜日)～6 月 6 日(金曜日) シャクナゲ開花時期における登山指導を実施

屋久島森林管理署及び当保全センターにおいて、例年 5 月下旬～6 月上旬のシャクナゲの開花時期に合わせて実施している、高山植物の盗掘防止など登山者のマナー向上を目的としたパトロールを今年度も実施しました。

宮之浦岳や太忠岳登山道など 4 つのコースにおいて、チーム編成を行い、3 日間延べ 10 名により実施しました。

今年は、例年より早く梅雨期を迎え前半は雨が続いたこともあり、後半は天候に恵まれましたが、予定路線すべてのパトロールは出来ませんでした。シャクナゲの開花を待ちわびた登山者は、屋久島の雄大な自然に触れられて満足そうでした。今回初めて参加する職員もあり、屋久島の森林の現況や登山者の状況把握など多くの知見を得ることができたパトロールになりました。

今後も地域の関係者と連携しながら、安全で楽しい登山となるよう呼びかけていくこととしています。



パトロール状況(太忠岳コース) (左)、投石平周辺 開花状況 (中)、最高の天気に恵まれたパトロール(宮之浦岳コース) (右)

2025 年 05 月 20 日(火曜日) 令和 7 年度 屋久島世界遺産地域連絡会議開催

屋久島環境文化村センターにて、令和 7 年度屋久島世界遺産地域連絡会議が開催され、(ア)6 年度の事業実績及び 7 年度の主な事業計画、(イ)関連する協議会・検討会等の情報共有、(ウ)世界遺産地域モニタリング計画の改定、(エ)湿原保全対策の報告等について、各機関から説明がありました。

九州森林管理局からは、令和 6 年度の事業結果及び 7 年度の主な事業計画等について説明を行い、特に湿原保全対策において、地下水位の変動を計測するために設置している地下水位計をこれまでの 1 本から 5 本に増設したことを報告しました。なお、計測器が 5 本と限られているため、木道や休憩デッキ付け替え後の地下水位の変動がモニタリングできないようであれば有識者の助言を得つつ対応を検討することとしています。

事務局からは、前回の科学委員会幹事会で意見がまとまった、委員の年齢要綱の見直しについて、今年度中に後任候補を決定し引継ぎ期間を設けることで、令和 9 年度の委嘱がスムーズにいくよう

準備を進めていくとの説明がありました。

各委員からは、「大型客船飛鳥3の7月就航や空港滑走路の延長実現により、観光客がさらに増えることが予想され課題も増えてくる、大株歩道等の特定自然観光資源の指定等早めの対策が必要であるのでは」との意見や、花之江河の祠について、「今までは大雨で補修してもすぐ流れて困っていたが、基礎部分の補修をしてもらい助かった」との意見が出され、活発な意見・情報交換の場となり会議を終了しました。



連絡会議の様子（左）、地下水位計（中）、基礎部分を補修した祠（右）

2025年05月07日(水曜日) 令和6年度 屋久島自然休養林の利用状況

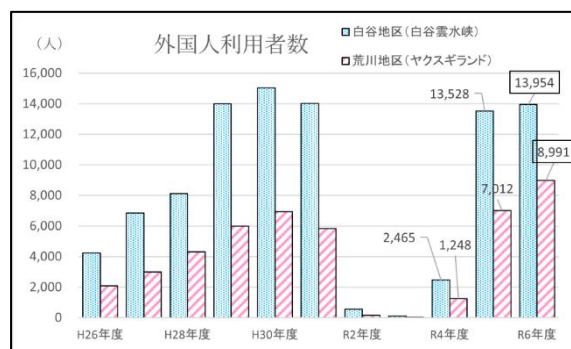
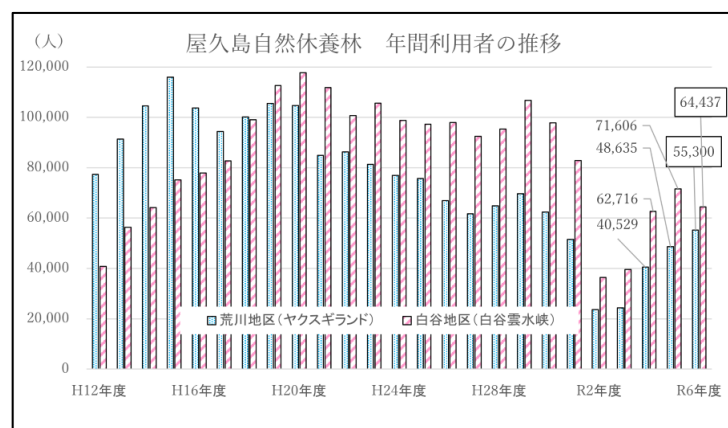
令和6年度屋久島自然休養林(ヤクスギランド・白谷雲水峡)の利用者数について報告します。

年間の利用者数は119,737人(ヤクスギランド：55,300人、白谷雲水峡：64,437人)となり、令和5年度と比較すると99.6%約500人の減となりました。

令和6年度は、8月末の台風10号により、白谷雲水峡が通行止め及び閉園するなど大きな影響を受けましたが、この間、観光ガイドの皆さまや関係機関等の応援もあり、少しずつ施設整備が進み、年度中には一部を除き通行止めも解除されたため、利用者数は回復し最小限の減員で推移しました。

また、外国人の利用者は令和5年度より2,405人増加の22,945人となり年々増加傾向となっています。

※データ提供：屋久島レクリエーションの森保護管理協議会





さつき吊り橋付近の崩壊地（左）、崩土除去及び歩道補修整備状況（中）、遊歩道・看板・木製デッキの整備状況（右）

2025 年 05 月 03 日(土曜日) GW 期間中の縄文杉周辺マナー指導を実施

5月3日（土曜日）に屋久島山岳部保全利用協議会（※）の一員として、屋久島森林管理署職員2名及び当保全センター職員2名による、縄文杉展望デッキ周辺での登山客へのマナー指導を実施しました。この取り組みは、同期間中に混雑が予想される縄文杉展望デッキ周辺で実施するもので、登山客に対してデッキ周辺の順路案内や飲食禁止等呼びかけました。

当日は快晴で、マナー指導にあたった10時30分～13時の間に約320名の登山客が訪れ団体客や家族連れ等で賑わっていましたが、同行されているガイドからの声掛けもあり、登山者の皆さんはマナーを遵守され快適に鑑賞されていました。

今後も、安全で快適な登山ができるよう関係機関と連携したマナー指導等を実施することとしています。

※環境省・鹿児島県・屋久島町・屋久島観光協会・屋久島環境文化財団及び林野庁等で構成



R7.5.3 縄文杉-南側展望デッキより-（左）、南側の展望デッキと登山者（右）